

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)

【公表番号】特表 2002-540536 (P2002-540536A)
 【公表日】平成 14 年 11 月 26 日 (2002.11.26)
 【出願番号】特願 2000-608334 (P2000-608334)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 15/16 6 2 0 T

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 11 月 1 日 (2005.11.1)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 のコンピュータと、デバイスと電子的通信を行う第 2 のコンピュータとを含むネットワークコンピュータシステム内で使用するための分散型オブジェクトであって、該分散型オブジェクトは、

第 1 のコンピュータ上に実現され格納されている第 1 メンバーコンポーネントと、

第 1 のコンピュータ上に実現され格納されている第 2 メンバーコンポーネントとを有し

、
 前記第 2 メンバーコンポーネントが第 2 のコンピュータと電子的通信を行い、また前記第 2 メンバーコンポーネントが第 2 のコンピュータ上のデータにアクセスするように機能する、ことを備えた分散型オブジェクト。

【請求項 2】 請求項 1 記載の分散型オブジェクトにおいて、前記分散型オブジェクトが 1 つのオブジェクト階層の一部である、分散型オブジェクト。

【請求項 3】 請求項 2 記載の分散型オブジェクトにおいて、前記オブジェクト階層がクラス階層のインスタンス化であり、前記クラス階層が、

第 2 のコンピュータのセットに共通なメンバーデータおよび機能を含む基本クラスを有し、該基本クラスは、第 1 のコンピュータ上に実現され格納され、

第 1 サブクラスを有し、該第 1 サブクラスは、前記基本クラスから導出され、前記第 1 サブクラスは第 1 のコンピュータ上に実現され格納され、かつ、第 2 のコンピュータと電子的通信を行う前記第 2 メンバーコンポーネントを有し、かつ、前記第 2 メンバーコンポーネントが第 2 のコンピュータ上の前記データにアクセスするように機能する、分散型オブジェクト。

【請求項 4】 請求項 3 記載の分散型オブジェクトにおいて、前記クラス階層が更に第 2 サブクラスを有し、該第 2 サブクラスが前記オブジェクトの機能を変更する、分散型オブジェクト。

【請求項 5】 請求項 1 記載の分散型オブジェクトにおいて、第 2 のコンピュータがアプリケーションコードを有し、該アプリケーションコードがデバイスに関するサービスを提供する、分散型オブジェクト。

【請求項 6】 請求項 1 記載の分散型オブジェクトにおいて、第 2 のコンピュータが更に第 2 のコンピュータ上にサービスリストを有し、該リストが所定のサービスの情報を有する、分散型オブジェクト。

【請求項 7】 請求項 6 記載の分散型オブジェクトにおいて、前記分散型オブジェクト

が更にエクスポートされたサービスの目録を有し、該エクスポートされたサービスが前記サービスの副集合である、分散型オブジェクト。

【請求項 8】 請求項 7 記載の分散型オブジェクトにおいて、前記第 2 メンバーコンポーネントがエクスポートされたサービスの前記目録を有する、分散型オブジェクト。

【請求項 9】 請求項 6 記載の分散型オブジェクトにおいて、前記リストの前記情報が機能の識別子と前記機能に関連するデータ形式を有する、分散型オブジェクト。

【請求項 10】 請求項 6 記載の分散型オブジェクトにおいて、前記リストの前記情報が変数の識別子と前記変数に関するデータ形式を有する、分散型オブジェクト。

【請求項 11】 請求項 6 記載の分散型オブジェクトにおいて、前記リストの前記情報がイベントの識別子を有する、分散型オブジェクト。

【請求項 12】 請求項 6 記載の分散型オブジェクトにおいて、前記リストの前記情報がファイルの識別子を有する、分散型オブジェクト。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0088

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0090】

上述のように、本発明の組込型マイクロインターネット動作技術 (EMIT: Embedded Micro Internetworking Technology) ソフトウェアは組込型マイクロ制御装置のほとんどのソフトウェアを移動して、それを更に能力の高いコンピュータにネットワークを介して分散するように設計されている。EMIT はまた既存のインターネット技術を強化するようにも開発されている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0091】

EMIT ソフトウェアの使用は以下を含む種々のコンポーネントを含む。顧客の組込型アプリケーション 28、emMicro ソフトウェア (これは組込型インタフェースモジュール 34 に関連する)、emGateway ソフトウェア、emNet ソフトウェア (これは通信モジュール 38 および 42 に関連する)、および顧客の監視 / 制御アプリケーション 52 である。